

平成28年度

入学試験問題

国語

※試験開始のチャイムや合図があるまで開かないこと

〔注意事項〕

1. 問題用紙は、8ページまでである。
2. 解答は、すべて別紙の解答用紙の所定欄に記入すること。
3. 解答用紙への記入は、試験開始後に記入すること。
4. 解答用紙には出身中学校・受験番号・氏名を必ず記入すること。
5. 試験開始の30分後から退場はできるが、解答用紙は必ず裏返して退場すること。
6. 問題用紙は、各自で持ち帰ること。

常磐高等学校

一 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

野球が上達する一番の秘訣は、技術的なことでも精神的なことでもない。その選手の感性の豊かさだ。ある選手の練習方法が、周りから見れば良くないやり方の場合がある。だが、周りの人間が取り組み方を変えなければいけないとわかっているとしても、その選手自身が理解しなければ、今まで積み上げてきたものがゼロになる可能性も出てきてしまう。ボールの打ち方ひとつをとっても、すべてその選手の感性次第だ。そうした部分には、指導者も入り込めない。

それでも、そこを度外視して「おまえのやり方は間違っている。こうしたしなければならぬのだ」と断定的な言い方をすれば、選手に混乱を与えてしまうだけだ。それでつぶれていったのは、プロの門を叩いた選手の90%以上になるはずだ。そうしたことを踏まえると、コーチの仕事は「教えることではなく見ていること」であると考えられる。

その選手には、その選手なりの良い部分がある。だから指導者は、その良い部分は何かを見極めて頭の中に叩き込んでおけばいい。そのためには、何が良くて何が悪いかを分析する能力がなければならない。見ているだけでいいと言ったが、ただ単にながめているだけでは答えは出せない。

例えば、ある選手のスイングを見るなら、全体的なバランスを観察し、「この部分が良いから、この選手は打てる。反対にこの部分が悪いから、今は伸び悩んでいる」ということを理解しておく。そして、良いところ、悪いところについて、自分の中である程度の答えを出せるようにしておけば、その選手が「わからないから、教えてください」と言ってきた時に、事細かに説明してやれる。それができるかできないかが、良いコーチ、悪いコーチの基準だと思えるのだ。

もつともアドバイスをして、その通りにやらせるのがいいのか。それとも選手が気づくまでほうっておくのがいいのか。これは簡単に答えが出せることではない。

「時は金なり」という言葉から考えれば、「そんなに遠回りをしていないで、こうすれば別の答えが出てくるじゃないか」と、アドバイスを送るのが近道かもしれない。だが、それはあくまで上に立つ人間の考え方だと思う。

こうした選手とコーチとの関係は、会社の若い社員と上司との関係に当てはめて考えることもできるだろう。若い社員が仕事のやり方に行き詰まり、さらに上司に対してどうアドバイスを求めたらいいかさえわからないと見えた時、そんな場合はヒントだけを与えて、あとは本人に考えさせるのがいい。ここでも手取り足取りの指導は控えたい。手取り足取り教えてしまうと、次の局面になっても、きつとその社員はのうだうに困難を乗り越えようとしなくなる。

手取り足取り教えた上司が、いつまでもその部署にいるとも限らない。人事異動、もしくは他社へ移ってしまうこともあるだろう。その上司がいなくなったら、若い社員は新しい上司に、また一からのやり直しで教えてもらわなければならなくなる。こうした仕事の進め方では、自分に身につくものは何もない。結局は教えられたことしかやらなくなり、困れば誰かを頼って自分で考えることはしなくなる。

しかし、何らかのヒントをもらって自分で答えを出すという経験をすれば、次の問題に出くわした時にも、「前はこういうやり方だった。自分で考えてみたら、また別の方法が出てくるのではないか」と応用しながら、自分を生かすような物事の考え方ができてくる。

それでもつちもさつちもいかなければ、「あの時、あの人がこんなことを言った。ちよつと参考にしてやってみようかな」とか「この人はこんなことを言った。それも参考にしてみようかな」とやってみるようになる。こうした経験を繰り返すうちに、自分独自のやり方が見えて

くるようになるはずだ。

ところが、現代社会において上司は教えることに慣れ、部下は教えられることに慣れすぎている。ヒントではなく、やり方や答えばかりを教わるようになっていて、それが自分の色を出せなくなる原因になっている。

視点をどこへ置くかによって、すべての答えの出し方は変わる。失敗する時は失敗すればいい。失敗することを恐れず、失敗しても、その経験を次への糧かてにすればいい。失敗したことが自分の教訓として生かされていれば、同じ失敗を繰り返してしまいうことも避けられる。

(落合博満『コーチング——言葉と信念の魔術』による。一部改変)

問一 本文中の ながめ のうどう に適切な漢字をあて、楷書かいしよで書け。なお、送り仮名が必要なものは、平仮名で正しく送ること。

問二 本文中に 度外視 とあるが、この意味をあらわす次の文の空欄 に入る最も適当な漢字二字の語句を、本文中からそのまま抜き出して書け。

にしないこと。

問三 「本文中に 良いコーチ、悪いコーチ とあるが、筆者の考える『良いコーチ』とはどのような人物か」という問いに対する正夫くんの考えた次の解答が正解になるように、空欄 ア・ イ に入る最も適当な漢字二字の語句を、それぞれ本文の第一～第四段落中からそのまま抜き出して書け。

選手の ア の部分には入り込まず、良いところ、悪いところを十分に分析しておいて、本人から尋ねられたときに詳細に イ できる人物。

問四 本文中の 時は金なり ということわざに、最も意味内容が近いものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書け。

- 1 桃栗三年柿八年
- 2 百聞は一見に如かず
- 3 冬来たりなば春遠からじ
- 4 光陰矢のごとし

問五 本文中の きつと の品詞と、次の1～4の——線を施した語の品詞が同じものを一つ選び、その番号を書け。

- 1 あらゆる工場が操業を停止した。
- 2 彼女はその試合に堂々と出場した。
- 3 景気がゆっくり回復してきている。
- 4 野生の熊の動きは意外に素早い。

問六 自分独自のやり方が見えてくるようになる ために、筆者は何か必要だと考えているか。二十五字の語句を本文中からそのまま抜き出して書け。

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

与善人居、

(善人と居るは、)

如入芝蘭之室。

(芝蘭の室に入るがごとし。)

久而自芳也。

(久しうて自ら芳しきなり。)

与恶人居、

(悪人と居るは、)

如入鲍鱼之肆。

(鮑魚の肆に入るがごとし。)

久而自臭也。

(久しうして自ら臭きなり。)

人は善き友にあはん事をこひねがふべきなり。「麻の中の蓬はためざるにおのづから直し。」といふたとへあり。蓬は枝さし直からぬ草なり。されども、麻に生ひまじりぬれば、ゆがみて行くべき道のなきままに、心ならずうるはしく生ひのぼるなり。心のあしき人なれども、うるはしくうちある人の中に交はりぬれば、さすがかれこれを憚るほどに、おのづから直しくなるなり。これによりて、善き友あはん事を経にも説かれ、文にもすすめたり。

『十訓抄』による。一部改変

(注) 芝蘭の室…かおりのよい草やすぐれたもののある部屋 鮑魚の肆…魚のひものを売るくさい店 こひねがふ…願い望む

麻…まつすぐに生える植物 枝さし…枝ぶり ためざるに…手を加えて直すこともしないのに

生ひのぼる…成長してたけが高くなる うちある…いる、ある 経…仏教のお経

問一 [] の漢文に、() 内の書き下し文の読み方になるように返り点を付けたとき、一・二点以外に必要とする返り点は何があるか。その返り点を書け。

問二 本文中に 麻 とあるが、それを意味する漢詩中の語句として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書け。

- 1 善人
- 2 悪人
- 3 友
- 4 文

問三 本文中の うるはしく の読み方を、すべて現代仮名遣いに直し、平仮名で書け。

問四 [] 中の漢詩の第三句「久 而 自 芳 也。」と同じことを表している最も適当な部分を、本文中の「人は善き友に」以下の文章から十七字でそのまま抜き出して書け。

問五 本文中に はまか かれこれを憚るほどに とあるが、「かれこれを憚る」とは「だれかれに遠慮をしているうちに」という意味であるが、誰が、誰に、遠慮をしているのか。

- 1 心のあしき人が、うるはしくうちある人に
- 2 心のあしき人が、善き友に
- 3 善き友が、うるはしくうちある人に
- 4 善き友が、心のあしき人に

問六 左の [] 中の文章は、本文中の 文にもすすめたり についてまとめたものである。空欄 [ア] に入る、最も適当な漢字二字の熟語を、現代語で考えて書け。また、空欄 [イ]・[ウ] に入る内容を、それぞれ現代語で考えて書け。ただし、イは十五字以上、二十字以内とし、自分で という語句を必ず使うこと。ウは十字以内とする。

「文にもすすめたり」とは、 [ア] との関わりが大きな影響を及ぼすことが経文にも説かれ、書物にもすすめているということである。これは「 [イ] 」。 というたとえがあるように、心のまっすぐな善い人となるには、 [ウ] ということだ。

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。句読点等は字数として数えること。

光陵中学校弓道部の伊吹早弥（二年生）は、同級生の石田春フィリップアンダーソンと松原実良らと先輩の柏木由佳（三年生）を支えて県大会・九州大会と勝ち進んだが、全国大会は逃してしまった。

立ちのぼる煙の向こうで、ロバートさんの景気のよい声がする。

「さあ、どしどし焼きますからね」

熱した網に、分厚いステーキや骨付きソーセージ、それに、とうもろこしやピーマンなどの夏野菜がのせられた。そのたびにじゅうじゅうと、おいしそうな音がした。

九州大会のお疲れさま会と、由佳とのお別れ会を兼ねて、ロバートさんが庭でバーベキューをしてくれることになった。部員をはじめ、坂口先生も澤田先生も参加している。

春の家の庭は、ガーデンング好きな聡子さんの趣味で、植木鉢やプランターがセンスよく配置され、いつも季節の花やハーブが満開だ。小さな池には噴水まである。

網から、香ばしい匂いが立ちこめてきた。

「それでは、乾杯をいたしましょう。ティーチャー澤田、よろしくお願ひします」

「では、柏木さんと次のキャプテン春くん、並びに光陵中学校弓道部の活躍を祈って、かんぱーい」

澤田先生がビールのグラスを高々と上げ、早弥たちもコーラのグラスを打ち鳴らした。

「さあさ、じゅわじゅわ食べてくださいよ」

「いただきますーす」
大きなステーキを切り分けてもらい、口に運んだ。香ばしい香りが、口の中いっぱい広がる。かむとじゅわつと肉汁があふれた。ロバートさんの変な擬態語がびったりくる。

おいしくて、言葉もない。みんなもくもくと食べている。

「これをちよつと見てください」

おおかた網の上の食べ物が無くなったところで、ロバートさんが新聞を配り始めた。

「あ、春だ！」

日毎新聞の地方版に、弓道着姿の春の写真が大きく載っていた。

「ちようど今日載りました。みなさんの分はコンビニで買ってきましたのです」

「恥ずかしいっちゃ」

春は照れたが、写真はとてまかつこよく写っていた。

「国際派射手誕生。弓のアーチで世界を結ぶ」だって」

ぴったりの見出しだと早弥は思う。

「身についた礼儀は、日本人以上に日本人らしい」って。ほんと、春は礼儀正しいもんね」と、由佳。

『ぼくの前には、全国だけじゃなくて、全世界が広がっています。弓は武器ではなく、自分の心と向き合うための道具だと、世界の人にも伝えていきたい』だって。ねえ、春、ほんとにこんなこと言ったと？」

実良がにやにやしている。

「そんなにかっこよくは言えんかったっちゃ。記者さんが、まとめてくれたんよ」

謙遜したが、春らしい考え方だと、早弥は思った。じっくりと読むと、ほかにもこんなことが書いてある。

「初めて日本の弓を見たとき、とても美しいと思いました。そしてそれは不思議でした。元々は武器だったものが、どうして美しく見えるんだろうと、ちょっと自分が怖かったです。でも指導者の坂口先生から、武という言葉は戦いを止めるという意味だと教えてもらって、わかりました。弓だけではなく、武道というのは、本来戦いを止めるためにある、平和的なものなのです。だから、美しく見えたんだと思ったら、弓がますます好きになったのです」

すごい、春。

早弥は春を見上げた。ふと目が合って、どきんとした。

なんでかな。今までに感じたことがないどきんだ。そう思ったら、うろたえてしまうほど、鼓動が激しくなった。あわてて目を伏せる。

「弓道は、Aというのらしいですね。Bは、座って心を静かにして悟りを開きますが、弓道は立って行う修行のことです」

ロバートさんは、講義を始めるように語りはじめた。坂口先生も感心している。

「よくご存じですね。そして、それをよく理解されている様子ですね」

「はい。わたしはわかります。禅の心はアメリカ人にも理解できます。ああ、美しい。わたしは春だけでなく、あなたがみんなを誇りに思っています」

ロバートさんは温かな目をして言ったが、それよりも早弥は、涼しげな春の横顔が気になって仕方なかった。

(まはら三桃「たまごを持つように」による。一部改変)

(注) ロバート…春の父 聡子…春の母

問一 本文中の「活躍 悟り」の――線を施した漢字の読みを、平仮名で書け。

問二 本文中の「武」を楷書で書いた場合の総画数と、次の1～4の行書の漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを、一つ選び、その番号を書け。

- 1 宮 2 郎 3 迅 4 沸

問三 本文中に「季節の花やハーブが満開だ」とあるが、場面の季節を具体的に述べている箇所は、本文の何行目か。その行数を示す算用数字を書け。

問四 本文中に「春らしい考え方」とあるが、そのことを述べている最も適当な部分の三十九字の語句を、本文中からそのまま抜き出し、その初めの五字を書け。

問五 本文中に「美しく見えた」とあるが、春がそのように考える理由を「だから。」につながるように二十五字以内でまとめて書け。

問六 本文中の空欄 ・ に入る最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書け。

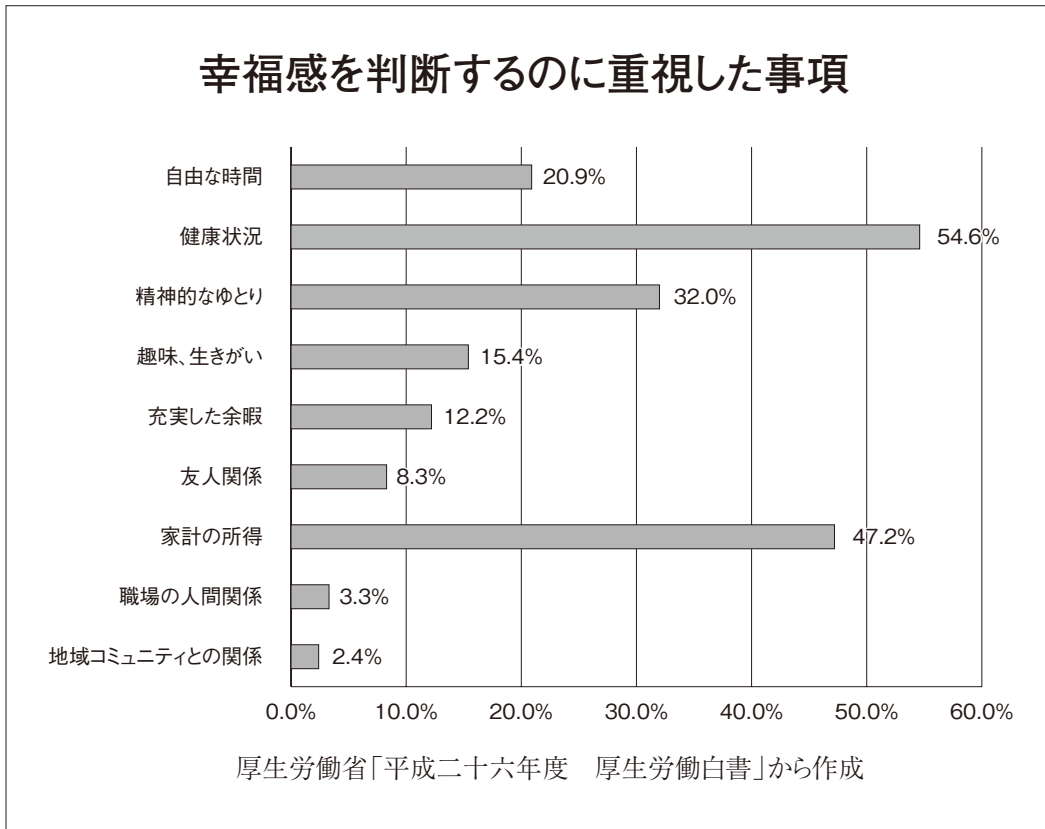
- 1 A 立行 B 座行 2 A 立禪 B 座禪 3 A 立修 B 座修 4 A 立悟 B 座悟

問七 本文中に「春の横顔が気になって仕方がなかった」とあるが、このときの早弥の感情の説明として最も適したものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書け。

- 1 今まで同級生のライバルとして共に練習してきた春が、一人だけ新聞に取り上げられたことをねたましく感じている。
2 今まで自分のほうが弓道のことを理解していたと思っていたが、春の弓道への想いの方が自分より強いと感じている。
3 今まで意識することのなかった春の存在が、自分の中で急に大きくなっていくことに気が付いて、とまどいを感じている。
4 今まで注目されたことのなかった春が、急に新聞に取り上げられ、日本人の自分が取り残されてしまう孤独を感じている。

四

次の 中のグラフは、二十歳以上の男女を対象に厚生労働省が実施した「平成二十六年 厚生労働白書」の結果の一部である。このグラフを見て、〈条件〉に従い、作文せよ。



〈条件〉

- 1 文章は、三段落構成とすること。
- 2 第一段落には、幸福感を判断するのに健康状況を重視する、と答えている人が多いことについて、あなたの考えを書くこと。
- 3 第二段落には、家計の所得を重視する、と答えている人も多いことについて、あなたの考えを書くこと。
- 4 第三段落には、第一段落と第二段落の内容を踏まえて、今後幸福感を得るための自分の取り組みについて、あなたの考えを書くこと。
- 5 題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従い、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。
- 6 グラフの数値を原稿用紙に書く場合は、左の例にならうこと。

例	
0	34
.	.
2	5
%	%